

無料修理規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。
(イ)無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
- 2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
- 3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ)一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ)本書の添付がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ)持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はおお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様のご負担となります。
- 5.本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト 部屋干し除湿機 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様			販売店			
ご住所 〒	—		住所・店名			
お名前		様				
電話 ()	—		電話 ()	—		

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

BA-RDH1-03-2302

récolte®

Dehumidifier

レコルト

部屋干し除湿機

RDH-1



取扱説明書

この度はレコルト 部屋干し除湿機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

INDEX

安全上のご注意	1～3
部屋干し除湿機について	4
各部(パーツ)の名称	5～6
使いかた	7～9
オフタイマーを設定する	10
いたずら防止機能(チャイルドロック)を設定する	10
【タンク】の水を捨てる	11
連続除湿を行う	12
お手入れのしかた	13～14
故障かな?と思ったら	15
仕様	16
無料修理規定/保証書	裏表紙

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター

TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)
【住所】
〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F




安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。







警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


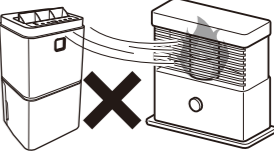

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。




 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

-  **改造はしない。また、分解したり修理をしない。**
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。
分解禁止
 -  **電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。(日本国内専用)**
故障・発熱・火災・感電の原因になります。
必ず行う
 - 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。**
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。
 - 異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。**
発煙・発火・感電・けがの原因になります。
〈異常・故障例〉
 - ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・電源を入れているのに動かない
 - ・電源コードに傷がついたり、通電したりしなかったりする
 - ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
 - ・こげ臭い・発煙している**▶すぐにカスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。**
 - 電源プラグをなめない。**
乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。
 - 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。**
感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。
 - 動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。**
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
 - 変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。**
火災・感電・けがの原因となります。
-
-  **電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**
感電・ショート・発火することがあります。
電源プラグを抜く
 - 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。**
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
-
-  **濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。**
感電・けがをすることがあります。
濡れ手禁止
 -  **本体を水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また水が掛かる場所、水場で使用しない。**
感電・ショート・故障のおそれがあります。
水濡れ禁止
 -  **電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 - 電源プラグにピン等の金属片やゴミを付着させない。**
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
 - 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取る。**
火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。
- ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。**
感電・ショートの原因になります。
- 子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。**
感電・けがをすることがあります。
- 長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。**
火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。
 - ・電源コードがねじれて戻らなくなった
 - ・電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
 - ・コンセントの差し込みがゆるい
- この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。**
けが・事故の原因になります。
- 除湿・衣類乾燥以外の用途に使用しない。**
異常動作・火災の原因になります。
- スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)。**
火災の原因になります。
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のものそばで使わない。**
火災の原因になります。
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない。**
火災の原因になります。
- ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使わない。**
発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。
- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない。**
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。
- 送風口・吸気口フィルター、タンク挿入部の奥などのすき間にもものや手を入れない。**
感電やけがの原因になります。
- 送風口・吸気口フィルターを、布や紙、ビニール袋などでおおったり、ふさいだりして除湿しない。**
過熱して火災の原因になります。
- タンクのフロートを外して使用しない。必ず正しい向きにセットし、ストッパーを装着する。**
運転できなくなったり、ストッパーを装着しないと水があふれて周囲の汚損・故障の原因になります。

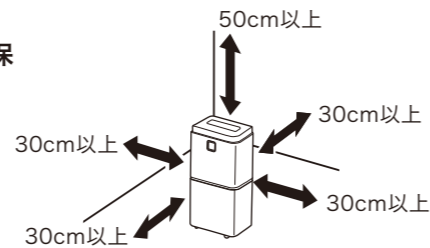
注意

-  **本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜いてから行う。**
感電の原因になります。
電源プラグを抜く
 -  **動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。**
けが・事故・感電・ショート・火災・発火の原因になります。
必ず行う
 - 使用後は必ずお手入れをし、常に清潔な状態に保つ。**
汚れは故障の原因になります。
-
-  **動作していない事を確認してから電源プラグを抜く。**
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
 - 不安定な場所やカーペット・座布団・敷物等の転倒の可能性がある場所で使用しない。**
転倒・破損・故障の原因になります。
 - 動作中は移動させない。**
水漏れやけがの原因になります。
 - 電源コードを本体に巻きつけたり、しばったりしない。**
火災・感電の原因になります。

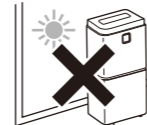
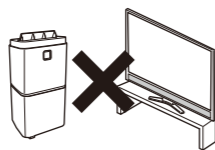


禁止

- ◆使用中にお子様やペットを側に近づけない。
けが・転倒・故障の原因になります。
- ◆屋外で使用しない。
故障の原因になります。
- ◆倒したり落したり、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。
故障の原因になります。
- ◆本製品は家庭用なので、業務用として使わない。
故障の原因になります。
- ◆タコ足配線はしない。
火災の原因になります。
- ◆乗ったり寄りかかったりしない。
感電・故障・けがなどの原因になります。
- ◆食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない。
保存品の劣化の原因になります。家庭用ですので、業務用・特殊用途には使用しないでください。
- ◆焼肉など、煙やおいの強い場所で使わない。
吸気口から煙やおいの強いにおいを吸うと本体内部においが移り、送風される風においが残る原因になります。
- ◆除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない。
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。
- ◆煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは除湿しない。
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の除湿で放出されて、健康によくありません。殺虫剤の使用後は、十分換気してから除湿してください。
- ◆風を直接身体に当てない。
特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり、健康を害する原因になります。
- ◆動植物に直接風を当てない。
害を与えるおそれがあります。
- ◆設置の際は、カーテン・壁・家具などから図に示す距離を確保してください。
過熱・火災の原因になります。



- ◆なるべく閉め切った部屋で使用する。
除湿中に窓や扉を開閉して室内の温度が大きく変わると、除湿量が低下する場合があります。
- ◆ラジオやテレビに近づけない。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- ◆直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置する。
変形・変色したり、除湿感知センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



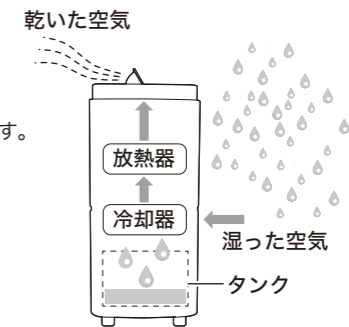
部屋干し除湿機について

部屋干し除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物などに当てることで、すばやく洗濯物を乾燥させます。一般的に部屋干しの洗濯物などは乾くまでに時間がかかります。また、屋外に干しても、取り込む時間帯が遅くなると、乾燥した洗濯物に再び湿気を吸収してしまいます。乾かすのに時間が掛かると、洗濯物などには雑菌が繁殖したり、においがついたりします。また、室内で蒸発した水蒸気は、量などの床に吸収されたり、壁や窓に結露したりします。部屋干し除湿機は洗濯物などから蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除く、除湿機の機能を活かして、かびや結露の発生を防ぎます。

除湿のしくみ

本製品はコンプレッサー式除湿のしくみを利用して除湿します。

- 1 湿った空気を【吸気口フィルター】から取り込みます。
- 2 冷却器で空気中の水蒸気を冷却します。水滴がタンクに溜まります。
- 3 冷えた空気を放熱器で温めます。
- 4 乾いた空気を【送風口】から送風します。



除湿量について

室内の温度や湿度によって、除湿しなかったり、除湿量が減少する場合があります。

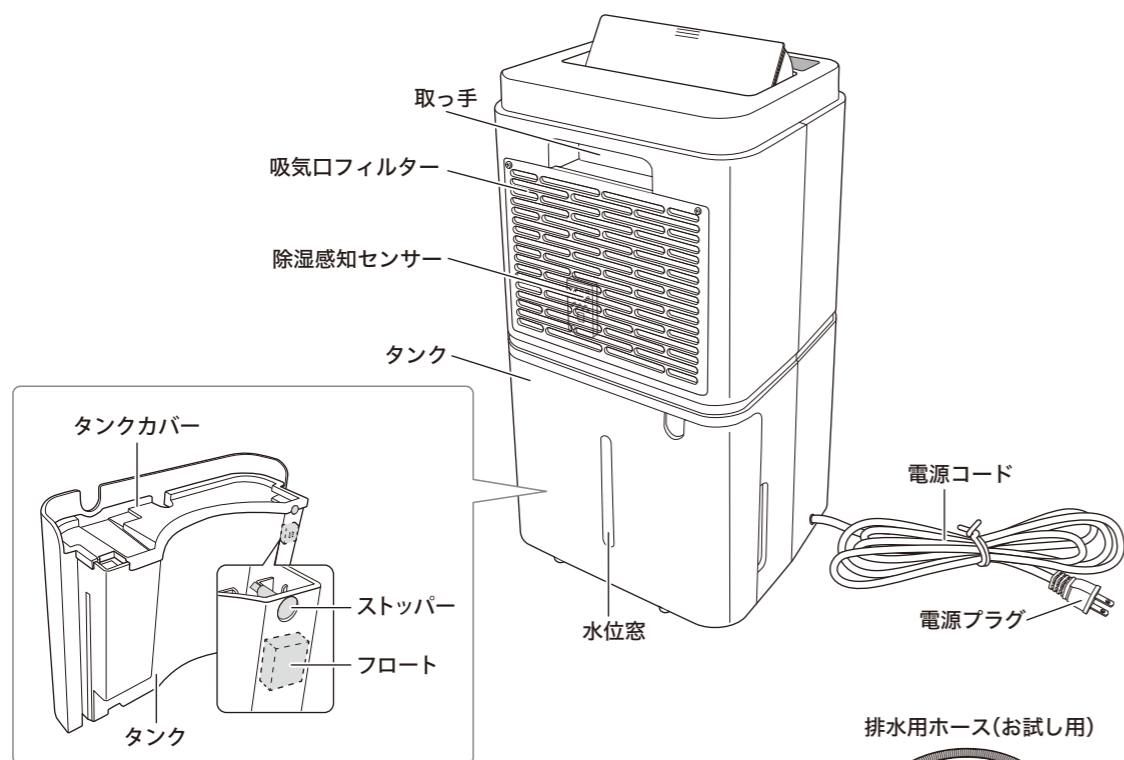
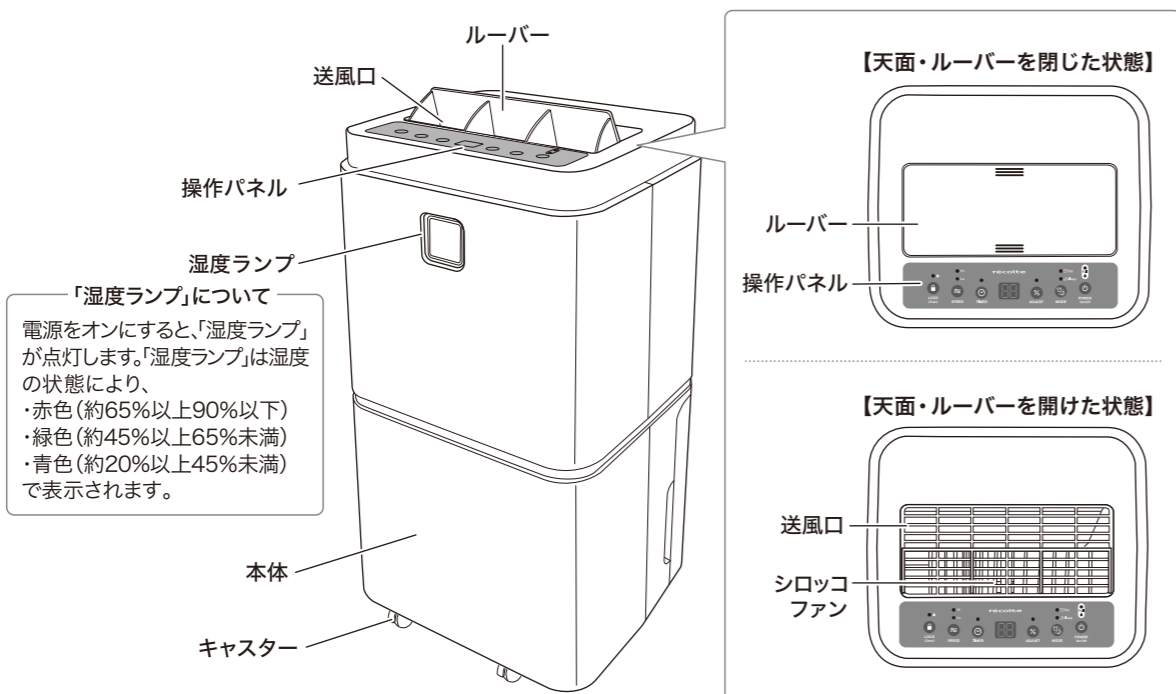
- 室温が低いとき
本製品は室内の温度が約5℃～35℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときは、吸気と冷却器の温度差が小さく結露しにくいので、除湿量が減少します。
- 湿度が低いとき
部屋の湿度が低いときは、空気中の水分量が少ないため、除湿量が減少します。
- 設定湿度に到達したとき
目標湿度を設定して除湿を行っているとき、設定した湿度に到達すると除湿を停止するため、除湿量が減少します。

霜取り機能について

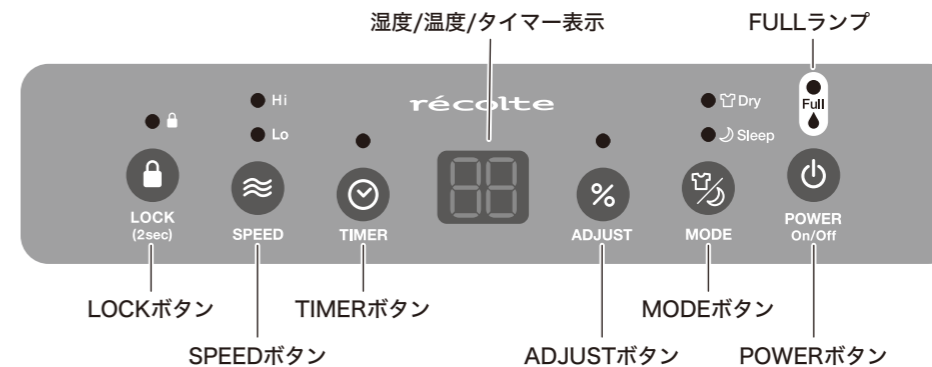
【本体】の周辺温度が18℃以下、または10℃以下になった場合、【本体】内部に霜が付くことがありますので、約10分間コンプレッサーを停止して霜取りを行います。

- ・18℃以下の場合
約45分動作→約10分停止→約45分動作を繰り返します。
- ・10℃以下の場合
約30分動作→約10分停止→約30分動作を繰り返します。

各部(パーツ)の名称



●操作パネル・表示部



POWERボタン	電源のオン/オフを切り替えます。電源をオンにすると設定中のランプと「湿度ランプ」が点灯します。
MODEボタン	このボタンを押すごとに Dry、 Sleep、ADJUSTの順でランプが点滅し、除湿のモードを切り替えることができます。「除湿モード」が設定されるとランプが点灯に変わります。 Dry:「Dryモード」で除湿します。送風の強さが「Hi」に固定され、連続で除湿します。 Sleep:「Sleepモード」で除湿します。送風の強さが「Lo」に固定され、除湿します。操作音がオフになります。設定後約10秒経過すると点灯中のランプが消灯し、再度ボタンを押すとランプが点灯します。 ADJUST:「ADJUSTモード」。ADJUSTボタンで目標の湿度を調整できます。
ADJUSTボタン	「ADJUSTモード」のときにこのボタンを押すと、「湿度/温度/タイマー表示」が点滅し、目標の湿度を30%～80%の範囲で設定できます。ボタンを押すごとに5%単位で湿度の設定が上がり、点滅から点灯に変わると目標の湿度が設定され、現在の湿度表示に戻ります。ボタンを長押し(約2秒)すると現在の温度が「湿度/温度/タイマー表示」に表示されます。
TIMERボタン	オフタイマーを1～12時間の範囲で設定できます。ボタンを押すと「湿度/温度/タイマー表示」に「」が点滅表示され、続けてボタンを押すごとに1時間単位で設定できます。点滅表示から点灯に変わるとオフタイマーが設定され、現在の湿度表示に戻ります。設定した時間になると、自動で電源をオフにします。
SPEEDボタン	MODEボタンで「ADJUSTモード」を選んだとき、送風の強さを切り替えます。ボタンを押すごとに「Hi」と「Lo」が切り替わりランプが点灯します。 Hi:強で送風します。 Lo:弱で送風します。 ※「Dryモード」、「Sleepモード」のときは、送風の強さを選ばません。
LOCKボタン	お子様のいたずら防止機能(チャイルドロック)を設定できます。ボタンを長押し(約2秒)するとランプが点灯し、各ボタンの操作ができなくなります。もう一度ボタンを長押し(約2秒)するとロックが解除され、ランプが消灯します。
FULLランプ	【タンク】が満杯になる、または【タンク】を外すと、ランプ(赤)が点灯します。
湿度/温度/タイマー表示	通常は部屋の湿度が表示されます。湿度設定中は目標の湿度(30～80%)、オフタイマー設定中は自動で電源をオフにする時間(1～12時間)が表示されます。温度表示は現在の室温が表示されます。

※ボタンを押すと、ピッと鳴りランプが点灯します。ボタンを押してもピッと鳴らない場合は、再度ボタンを押して、ピッと鳴ることを確認してください。「Sleepモード」中は操作音が鳴りません。

※「Sleepモード」中は湿度が約57%を下回ると、コンプレッサーを停止し、約30秒後に除湿を停止します。湿度が約63%を超えると、除湿を再開します。

※除湿運転が作動する可能範囲は、室内の湿度約30%～80%、温度約5℃～35℃です。

使いかた

3つのモードから選んでご使用ください。

「ADJUSTモード」(p.7)……湿度を調整したいときのモードです。目標の湿度を設定して除湿します。

「Dryモード」(p.9)……洗濯物などを早く乾かしたいときのモードです。送風の強さを「Hi」(強)に固定して連続除湿します。

「Sleepモード」(p.9)……夜間など、静かに作動させたい時のモードです。操作音、パネルライトの光を消し、送風の強さを「Lo」(弱)に固定して静かに除湿します。

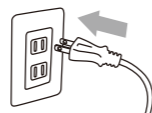
⚠ 注意

●本製品は冷房機器ではありません。締め切った部屋で使用すると、室温が2°C~5°C上昇します。また、太陽からの輻射熱や他の家電製品から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。「部屋干し除湿機について」(p.4)を参照ください。

「ADJUSTモード」で除湿する

1 【電源プラグ】をコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むと、ピーと鳴ります。



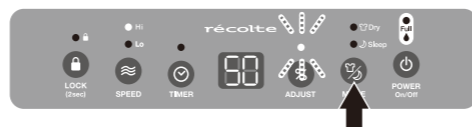
2 POWERボタンを押して電源をオンにする

ピーと鳴り、ランプと【本体】の「湿度ランプ」が点灯します。「湿度/温度/タイマー表示」に現在の湿度が表示され、「湿度ランプ」に現在の湿度の色が表示されます。



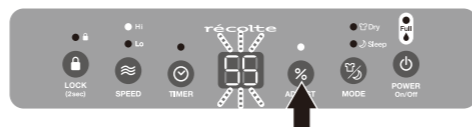
3 MODEボタンを押して、「除湿モード」を「ADJUSTモード」に切り替える

ADJUST ボタンのランプが点滅した後、点灯に切り替わります。



4 ADJUSTボタンを押して、目標の湿度を設定する

※初期設定は「50%」に設定されています。
「湿度/温度/タイマー表示」が点滅し、目標の湿度(30~80%)を設定できます。ボタンを押すごとに5%単位で設定できます。設定されると点滅から点灯に変わり、現在の湿度表示に戻ります。



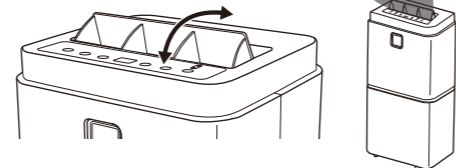
5 SPEEDボタンを押して、送風の強さを設定する

※初期設定は「Hi」に設定されています。
Hi: 強で送風します。
Lo: 弱で送風します。



6 【ルーバー】の位置を調整する

洗濯物などに風が当たるように、【ルーバー】の位置を調整します。
【ルーバー】は前後90°まで向きを変えることができます。



⚠ 注意

◆除湿中は、【ルーバー】を閉じた状態で使用しない。
故障の原因になります。

7 洗濯物などが乾いたら、POWERボタンを押して電源をオフにし、【電源プラグ】をコンセントから抜く

※【タンク】が満水になると、「FULLランプ」(赤)が点灯し、ピッという音(5回)でお知らせします。「【タンク】の水を捨てる」(p.11)の手順で【タンク】の水を捨ててください。

※3分以上作動している場合は、操作待機状態になります。一度操作ボタンを押して待機状態を解除してからPOWERボタンを押してください。

※電源をオフにした後、約30秒内部乾燥のためファンが作動します。完全に停止してから【電源プラグ】を抜いてください。

●除湿設定を確認する

「ADJUSTモード」中にADJUSTボタンを押します。目標の除湿設定が点滅表示され、現在の湿度表示に戻ります。

●途中で停止したいとき

POWERボタンを押して、電源をオフにします。

室温を確認する

ADJUSTボタンを長押し(2秒)すると、現在の温度が「湿度/温度/タイマー表示」に表示され、現在の湿度表示に戻ります。

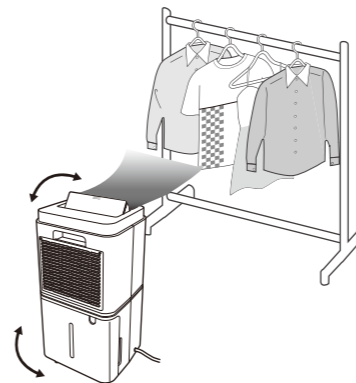


(長押し)

部屋干し除湿機の上手な使いかた

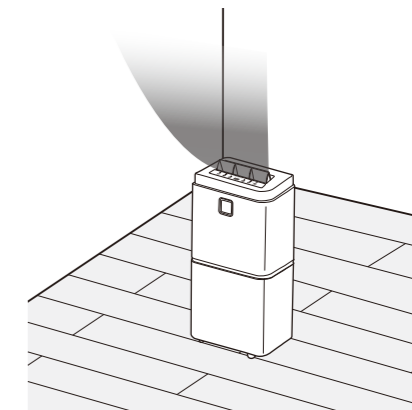
●洗濯物などを乾かすとき

風が洗濯物などに当たるように、【ルーバー】と【キャスター】で【本体】の向きを変えて風向きを調整します。



●部屋の湿気をとるとき

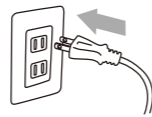
【送風口】の【ルーバー】を上に向け、部屋全体の空気を循環させるようにします。



「Dryモード」、「Sleepモード」で除湿する

1 【電源プラグ】をコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むと、ピーと鳴ります。



2 POWERボタンを押して電源をオンにする

ピッと鳴り、ランプと【本体】の「湿度ランプ」が点灯します。「湿度 / 温度 / タイマー表示」に現在の湿度が表示され、「湿度ランプ」に現在の湿度の色が表示されます。



3 MODEボタンを押して、「除湿モード」を「Dryモード」、または「Sleepモード」に切り替える

選択中はランプが点滅し、モードが設定されると点灯に変わります。
☑ Dry: 「Dryモード」で除湿します。送風の強さが「Hi」に固定され、連続で除湿します。

☑ Sleep: 「Sleepモード」で除湿します。送風の強さが「Lo」に固定され、静かに除湿します。操作音がオフになります。設定後約10秒経過すると点灯中のランプが消灯し、再度ボタンを押すと点灯します。

※「Sleepモード」中は湿度が約57%を下回ると、コンプレッサーを停止し、約30秒後に除湿を停止します。湿度が約63%を超えると、除湿を再開します。

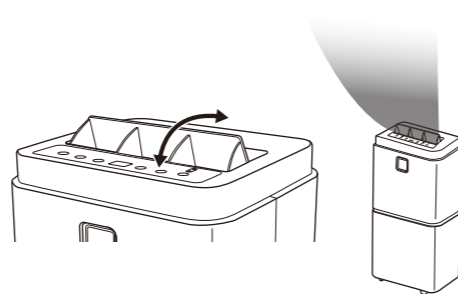


4 【ルーバー】の位置を調整する

洗濯物などに風が当たるように、【ルーバー】の位置を調整します。【ルーバー】は前後90°まで向きを変えることができます。

⚠ 注意

◆除湿中は、【ルーバー】を閉じた状態で使用しない。故障の原因になります。



5 洗濯物などが乾いたら、POWERボタンを押して電源をオフにし、【電源プラグ】をコンセントから抜く

※【タンク】が満水になると、「FULLランプ」(赤)が点灯し、ピッと音(5回)でお知らせします。「【タンク】の水を捨てる」(p.11)の手順で【タンク】の水を捨ててください。

※3分以上作動している場合は、操作待機状態になります。一度操作ボタンを押して待機状態を解除してからPOWERボタンを押してください。

※電源をオフにした後、約30秒内部乾燥のためファンが作動します。完全に停止してから【電源プラグ】を抜いてください。

●途中で停止したいとき

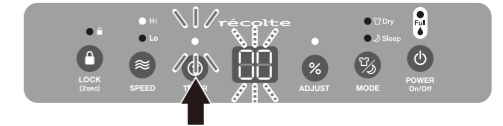
POWERボタンを押して、電源をオフにします。

オフタイマーを設定する

オフタイマーを設定すると、自動で電源をオフにすることができます。設定できる時間は1～12時間です。

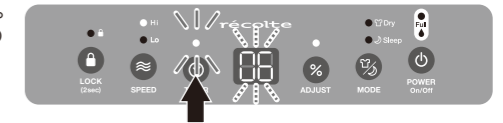
1 除湿設定後にTIMERボタンを押す

「湿度 / 温度 / タイマー表示」に「00」が点滅表示されます。



2 点滅中にTIMERボタンを押して、自動で電源をオフにする時間を設定する

TIMERボタンを押すごとに、時間(1～12時間)を設定できます。オフタイマーが設定されると、点滅表示が点灯に変わり、現在の湿度表示に戻ります。



3 設定した時間になると自動で電源をオフにする

●オフタイマー設定を確認する

オフタイマー設定中にTIMERボタンを押します。自動で電源をオフにする時間が点滅表示され、現在の湿度表示に戻ります。

●途中で停止したいとき

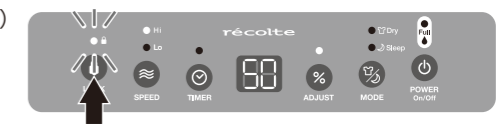
POWERボタンを押して、電源をオフにします。

いたずら防止機能(チャイルドロック)を設定する

除湿中に、お子様がボタンを押しても動作しないように設定することができます。

1 除湿設定後にLOCKボタンを長押し(2秒)する

LOCKボタンのランプが点灯し、いたずら防止機能(ロック)が設定されます。



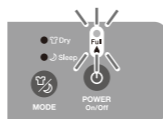
(長押し)

2 設定を解除するときには、LOCKボタンを長押し(2秒)する

LOCKボタンのランプが消灯し、いたずら防止機能(ロック)が解除されます。

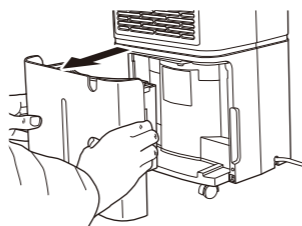
【タンク】の水を捨てる

【タンク】が満水になると、「FULL ランプ」(赤)が点灯し、除湿を停止します。【タンク】を取り出して溜まった水を捨ててください。水を捨てた【タンク】をセットすると、停止前の状態で除湿を再開します。連続で除湿を行いたいときは、「連続除湿を行う」(p.12)を参照し、【排水用ホース】を取り付けてください。

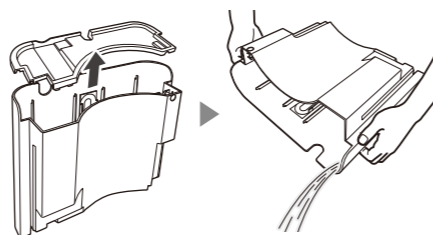


1 【タンク】をゆっくり取り出す

【タンク】を両手で持ち、ゆっくり水平に引き出してください。【タンク】を外すと「FULL ランプ」(赤)が点灯します。

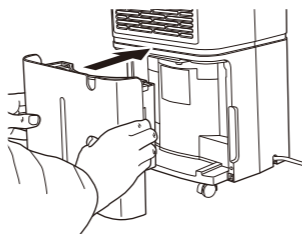


2 【タンク】の【タンクカバー】を開けて、水を捨てる



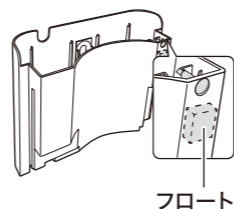
3 【タンク】に【タンクカバー】を取り付け、【タンク】をセットする

「カチッ」と音がするまで、【タンク】を差し込みます。正しくセットされると「FULL ランプ」(赤)が消灯します。



⚠ 注意

- ◆【タンク】の水はこまめに捨てる。
放置しておくと、雑菌の繁殖やにおいの原因になります。
- 【タンク】を正しくセットしないと動作しません。
- 【フロート】が動かないと満水を検知できません。【フロート】が動かないときは、【タンク】をゆするなどして、【フロート】が動くことを確認してから【タンク】をセットしてください。
【フロート】が動かないときは、「お手入れのしかた」(p.13)を参照し、お手入れしてください。



連続除湿を行う

【排水用ホース】を取り付けて、排水を浴室などに流すようにすると、【タンク】が満水になるのを気にせずに、連続で除湿を行うことができます。

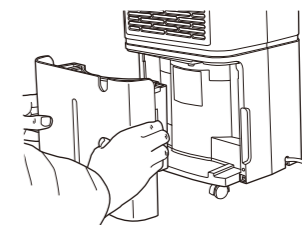
※市販のホースを使用するときは、【排水口】の外径(約φ12mm)にしっかりとハマるものを使用してください。ホースはしっかりと取り付けてください。

⚠ 注意

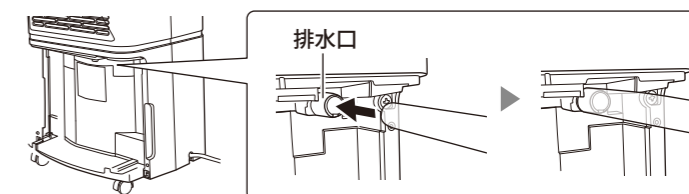
- ◆同梱の【排水用ホース】(お試し用)、または市販のホースを使用する場合は、亀裂や穴、変形、劣化などがないか必ず確認してください。
水漏れや周囲の汚損などの原因になります。

1 【タンク】をゆっくり取り出す

【タンク】を両手で持ち、ゆっくり水平に引き出してください。【タンク】を外すと「FULL ランプ」(赤)が点灯します。



2 【排水用ホース】を背面の【排水口】に接続する

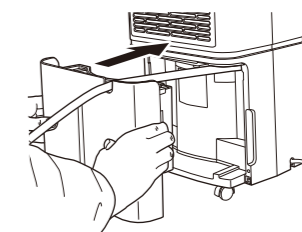


⚠ 注意

- ◆【排水用ホース】は【排水口】にしっかりと取り付ける。
水漏れの原因になります。

3 【タンク】をセットする

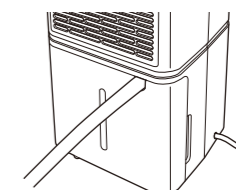
「カチッ」と音がするまで、【タンク】を差し込みます。正しくセットされると「FULL ランプ」(赤)が消灯します。



4 【排水用ホース】の排水側を浴室などの排水して良い場所に引き込む

⚠ 注意

- ◆【排水用ホース】の排水側は、本体の【排水口】よりも高い位置に設置しないでください。
本体の故障、水漏れの原因になります。



お手入れのしかた

お手入れは、必ず【電源プラグ】を電源コンセントから抜いてから行ってください。

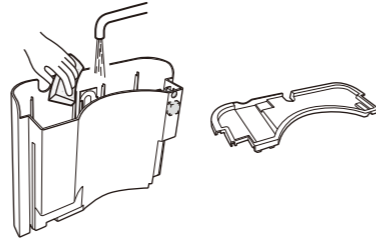
⚠ 注意

- ◆お手入れは、必ず【電源プラグ】をコンセントから抜いてから行う。
感電・火災・けがの原因になります。
- ◆ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤入り洗剤・磨き粉・金属製たわし・化学ぞうきんは使わない。
表面を傷つける原因になります。

【タンク】のお手入れ

1ヶ月
に1回

- 1 【タンク】を取り出し、【タンク】の水を捨てる。
「【タンク】の水を捨てる」(p.11)を参照してください。
- 2 【タンク】と【タンクカバー】を水洗いする。



- 3 洗った後は乾いた布で水気を十分に拭き取り、【タンクカバー】を【タンク】に取り付け、【本体】にセットする。

⚠ 注意

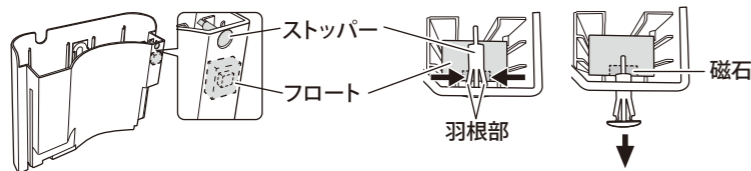
- 【タンク】を正しくセットしないと動作しません。

●【フロート】について

【フロート】が動かないと満水を検知できません。【フロート】が動かないときは、【タンク】をゆするなどで、【フロート】が動くことを確認してから【タンク】をセットしてください。

【フロート】の取り外し/取り付け

図のように【ストッパー】の羽根部を押さえながら取り出し、【フロート】を取り出します。【フロート】を取り付けるときは、磁石を【本体】側に向けて逆の手順で戻してください。



⚠ 注意

- 【ストッパー】が外れると【フロート】も外れ、満水を検知できなくなり、【タンク】に水があふれます。外したら必ず元に戻してください。

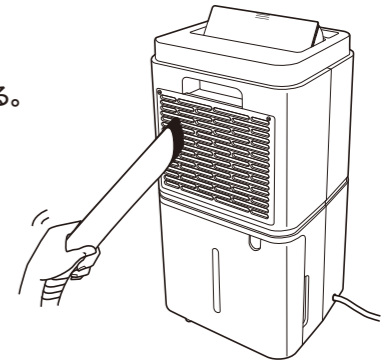
【吸気口フィルター】のお手入れ

2週間
に1回

- 本体裏面の【吸気口フィルター】を掃除機などで掃除する。
ほこりが付着していたら、こまめに取り除いてください。

⚠ 注意

- ◆ネジを外して【吸気口フィルター】を外さないでください。
感電・故障・けがの原因になります。



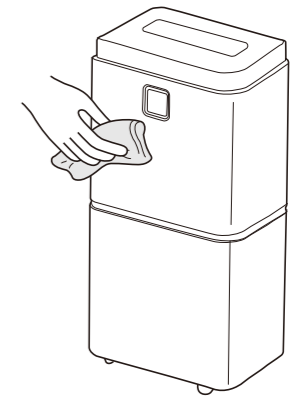
【本体】のお手入れ

1ヶ月
に1回

やわらかい布に水を含ませ、かたく絞ってから汚れを拭き取ります。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水やぬるま湯にやわらかい布などを浸し、固くしぼってから拭き、乾いた布でよく拭き取ってください。

⚠ 注意

- ◆【本体】は水洗いしない。

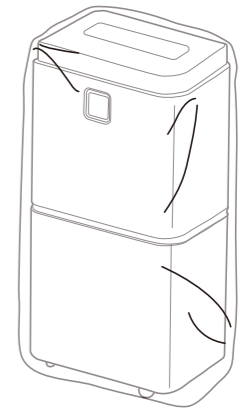


保管のしかた

長期間使用しない場合は、次の手順で保管してください。

※長期保管後にご使用になるときは、各パーツの点検・お手入れをしてお使いください。

- 1 電源ボタンで電源をオフにし、【電源プラグ】をコンセントから抜く
- 2 半日程度放置してから、【タンク】を取り外して水を捨てる。
- 3 【本体】、【吸気口フィルター】をお手入れする。
- 4 十分乾燥させてから、梱包箱またはポリ袋に入れる。
- 5 直射日光が当たらない、湿気の少ない場所に立てたまま収納する。



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

こんなとき	原因	対処法
ボタンを押しても動作しない。	【電源プラグ】が電源コンセントに差し込まれていない。	【電源プラグ】を正しい電圧の電源コンセントに確実に差し込む。
	ボタンを押したときに、「ピッ」と鳴らない。	ボタンを再度押して「ピッ」となることを確認する。 ※仕様により、ボタンの動作を受け付けないときがあります。「Sleepモード」時は、操作音は鳴りません。
	室内の湿度・温度が作動範囲外になっている。	室内の湿度が約20%~90%、温度が約5°C~35°C以内になると除湿運転が再開します。
「FULLランプ」(赤)が点灯した。	【タンク】が満水になっている。	【タンク】の水を捨てる。(p.11)
	【タンク】が正しくセットされていない。	【タンク】を正しくセットする。(p.11)
	【タンク】の【フロート】がはずれている。磁石の向きが逆になっている。	【フロート】を正しく取り付ける。(p.13)
コンプレッサーが動いていない。	霜取り機能が動作している。	霜取りが終わると再び除湿を開始します。(p.4)
	【本体】内部が過熱している。	【吸気口フィルター】、【送風口】をふさいでいるものを取り除く。または、直射日光や暖房から遠ざける。 さらに【電源プラグ】を抜き、1~2時間【本体】を冷ました後、再度【電源プラグ】をコンセントに差し込む。
	室温が低すぎる。 室温が高すぎる。	使用環境温度5°C~38°Cにする。さらに【電源プラグ】を抜き、再度【電源プラグ】をコンセントに差し込む。
除湿しない、除湿量が少ない。	【吸気口フィルター】、【送風口】がふさがれている。	ふさいでいるものを取り除く。
	湿度(相対湿度 ^{※1})が低い。 絶対湿度 ^{※2} (空気中に含まれる水分量)が低い。	温度が高くなるにもなって湿度(相対湿度)が低くなる、または温度が低くなるにもなって空気中の水分量(絶対湿度)が低くなると、除湿しなかったり、除湿量が少なくなったりします。
	【ルーバー】が閉じている。	【ルーバー】を開ける。
湿度が下がらない。	部屋が広すぎる。	適切な広さの部屋で使用する。
	窓や扉、ドアの開閉が多い。	窓や扉、ドアの開閉を控える。
	窓や扉、ドアが開いている。	窓や扉、ドアが開いていたら閉じる。
	石油ストーブなど水蒸気の出るものを使用している。	水蒸気の出る暖房器具は併用しない。
動作音が大きい。	【吸気口フィルター】が詰まっている。	【吸気口フィルター】を掃除する。(p.14)
	設置が悪く、がたついている。	水平で安定した場所に設置する。
床が濡れる。	【本体】が傾いている。	水平で安定した場所に設置する。
	【タンク】に水が入ったまま移動した。	移動するときは【タンク】の水を捨てる。(p.11)
	【タンク】内の【フロート】が外れている。	【フロート】を正しく取り付ける。(p.13)
	【タンク】の【タンクカバー】が正しく取り付けられていない。	【タンク】の【タンクカバー】を正しく取り付ける。(p.11)
除湿中、室温が上がる。	閉め切った部屋で運転すると、放熱のため室温が上昇する。	除湿のしくみによるもので、故障ではありません。
作動中がガタガタとゆれる。	コンプレッサーの動作によるもので、故障ではありません。	
他製品の湿度計と湿度表示が異なる。	本製品の湿度は【除湿感知センサー】で計測しているため、同じ室内でも計測される場所によって数値が異なる場合があります、故障ではありません。	
「湿度/温度/タイマー表示」の表示について		
室内の湿度または温度が作動範囲外の時、「湿度/温度/タイマー表示」にメッセージが表示され湿度ランプが赤色に点灯します。以下の状態になると除湿運転は停止します。 ・湿度90%以上: [H] ・湿度20%以下: [L] ・室温4°C以下: [L] ・室温36°C以上: [H] ※室内の湿度・温度が作動範囲内になると、除湿運転を再開します。 ※ [L] が表示され、停止した場合、約3分間操作できません。室内の湿度が約25%以上になると除湿運転が再開します。(DRYモード設定時)		窓やドアなどを開閉して換気をするか、エアコンや暖房器具などで温度を調整する。
確認後、なお異常があるとき。	カスタマーセンターまでご相談ください。 無料修理規定と保証書をご参照ください。(裏表紙)	

※1 相対湿度: 空気中に含むことのできる最大の水分量に対する、現在の水分量の割合(温度によって異なる)

※2 絶対湿度: 空気1m³中に含まれる水分量

⚠ 注意

改造はしない。また、分解したり修理をしない。

仕様

品名	部屋干し除湿機	
品番	RDH-1	
種類	コンプレッサー式	
電源	AC100V 50/60Hz	
	50Hz	60Hz
消費電力	130W	
定格除湿能力 ^{※1}	6ℓ/日	
除湿可能面積の目安		
木造(和室)	13㎡(7畳)	15㎡(8畳)
プレハブ(洋室)	19㎡(10畳)	22㎡(12畳)
鉄筋(洋室)	25㎡(14畳)	29㎡(16畳)
商品サイズ	約25.5(W)×22.0(D)×49.0(H)cm	
重量	約10.8kg	
最大タンク容量	約2.0ℓ	
冷媒フロン類	R-134a	
主な素材	ABS樹脂	
コード長	約1.6m	
生産国	中国	

※1 定格除湿能力は、室温27°C、相対湿度60%を維持し続けた状態での1日当たりの除湿量です。

※仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。

冷媒に関するご注意



家庭用本機にはCO₂(温暖化ガス)143kgに相当するフロン類(R-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、破棄等に当たっては、冷媒フロン類の適切な処理が必要ですので、お住まいの地域の方法に従って破棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、カスタマーセンターまでお願いします。

Memo

Ruled lines for writing on page 17.

Memo

Ruled lines for writing on page 18.